

# シェール関連株オープンの運用状況

シェール関連株オープン  
追加型投信／海外／株式

2016年11月8日

原油相場は、石油輸出国機構（OPEC）による減産合意への期待から10月中旬にかけて1バレル当たり50ドル台前半に上昇しました。しかし、イラクやロシアが増産姿勢に転じるとの懸念が強まったことなどから10月下旬から足元にかけて下落基調が続いています。

今回のレポートでは、米国エネルギー関連企業の決算動向とファンドへの影響が大きい原油相場を取り巻く環境について説明します。

## 米国エネルギー関連企業の7-9月期決算動向

2016年7-9月期のエネルギー企業の業績は、今年年初にかけて原油などの資源価格の低迷が続いたことなどが響き、大幅な減収減益となりました。しかしながら、原油価格が底打ちから上昇基調に移る中、一部のエネルギー企業は採算性の高い優良な油田を中心にシェールオイルを増産しつつあります。この動きに加えて、これまでコスト削減を積極的に行ってきたことなどを反映して、エネルギー企業の業績は今後改善していくと見込まれています。

S&P500種指数に採用されるエネルギー企業の決算動向  
(2016年11月4日現在)

	2016年 7-9月期	2016年 10-12月期	2017年 1-3月期	2017年 4-6月期
売上高 (前年同期比)	-16.7%	+5.6%	+43.0%	+30.7%
1株当たり利益 (前年同期比)	-62.7%	-8.6%	黒字転換	+376.0%

※2016年7-9月期は実績、2016年10-12月期以降は予想  
(出所)Bloombergデータより 岡三アセットマネジメント作成

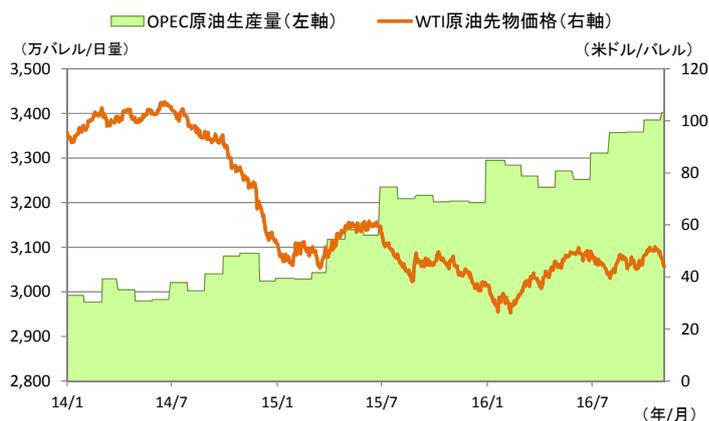
## 11月末のOPEC定例総会を控えて、原油価格は方向感を欠いた展開へ

9月下旬のOPEC臨時総会において産油国が協調減産で暫定合意したことを受けて、原油相場は10月中旬にかけて上昇しました。

しかし、足元では供給面の複数の悪材料が原油相場の下落につながっていると考えられます。ここ数ヶ月間の原油生産量の推移を見ると、サウジアラビアやベネズエラが減少しているものの、イランやイラク、クウェートなどの増加が続いているため、OPEC加盟国全体の原油生産量の増加基調が続いています。このことから、OPEC内の足並みが揃わず、ロシアなどOPEC非加盟国との生産調整協議がまとまらないとの懸念が浮上しています。また、米国のエネルギー省の週間在庫統計におい

OPEC加盟国の原油生産量と原油先物価格の推移

(2014年1月2日～2016年11月4日)



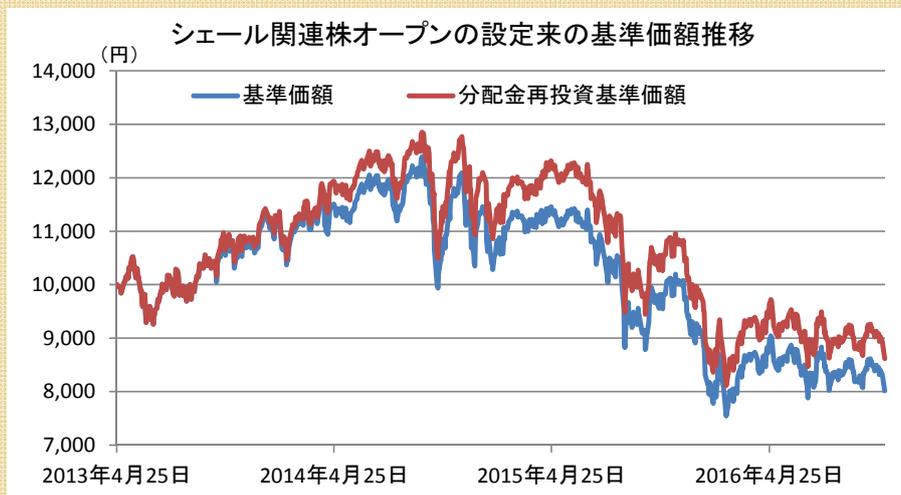
(出所)Bloombergデータより 岡三アセットマネジメント作成

て原油在庫が10月末に急増したことも原油相場の先行き不安を高めたと思われます。

11月末のOPEC定例総会に向けては、各産油国が協調して減産実施プロセスにかかわる具体的な進展を実現し、減産実施に対する市場の懐疑的な見方を払拭できるかが原油相場の動向を見るうえでの注目点になると考えられます。

### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「シェール関連株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**シェール関連株オープン  
追加型投信／海外／株式**
**運用状況（作成基準日 2016年11月4日）**


ファンドデータ（11月4日現在）	
基準価額（円）	8,018
残存元本（百万口）	1,594
純資産（百万円）	1,278
組入比率（％）	86.6％
現金比率（％）	13.4％
組入銘柄数	49

過去の分配金の推移	
2013年10月9日	100円
2014年4月9日	300円
2014年10月9日	200円
2015年4月9日	200円
2015年10月9日	0円
2016年4月11日	0円
2016年10月11日	0円

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。  
 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。  
 ※組入比率はマザーファンドを通じた実質組入比率です。  
 ※分配金は1万口当たり、税引前です。

**■ 足元の運用経過について**

10月の運用に関しては、上旬は原油価格の上昇を想定し、探査・掘削株のウェイトを引き上げる一方、素材や資本財の大型株のウェイトを引き下げました。下旬以降は、OPECの減産の最終合意が危ぶまれ、原油価格に頭打ち感が出たことに加え、米大統領選を控えて先行き不透明感が次第に高まると判断し、大型銘柄を中心にエネルギー株を一部売却し、組入比率を引き下げました。

2016年11月4日現在、シェール関連株オープンの実質組入比率は86.6%、組入銘柄数は49銘柄となっています。

**■ 当面の運用方針について**

シェール関連株を取り巻く投資環境につきましては、11月末にOPEC定例総会が予定されており、各産油国の動向を巡る不透明感が強まると見込まれるため、当面は神経質な値動きが予想されます。

当面の運用につきましては、11月上旬から中旬にかけて軟調地合いが続くと見込まれることから、組入比率を85%前後に抑制して運用を行います。しかし、定例総会を前に産油国間で減産に向けた議論が進むなど、原油の供給過剰に対する懸念が後退し、原油価格が上昇に転じる局面では、業績見通しの上方修正が予想される探査・掘削株を買い増し、全体の組入比率を引き上げる方針です。

（作成：グローバル・エクイティ運用部）

**<本資料に関してご留意いただきたい事項>**

■本資料は、「シェール関連株オープン」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



シェール関連株オープン  
追加型投信／海外／株式

シェール関連株オープンに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国、カナダおよびメキシコの株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「信用リスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時  
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時  
換金手数料：ありません。  
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中  
運用管理費用（信託報酬）  
：純資産総額×年率1.674%（税抜1.55%）
- その他費用・手数料  
監査費用：純資産総額×年率0.01296%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

**販売会社**

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
<b>(金融商品取引業者)</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
藍澤証券株式会社	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
永和証券株式会社	近畿財務局長(金商)第5号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
香川証券株式会社	四国財務局長(金商)第3号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
光証券株式会社	近畿財務局長(金商)第30号	○	○		
フィデリティ証券株式会社	関東財務局長(金商)第152号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
三木証券株式会社	関東財務局長(金商)第172号	○			
三田証券株式会社	関東財務局長(金商)第175号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
<b>(登録金融機関)</b>					
株式会社イオン銀行	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社千葉興業銀行	関東財務局長(登金)第40号	○		○	
株式会社東北銀行	東北財務局長(登金)第8号	○			

(注)販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

**<本資料に関するお問い合わせ先>**

カスタマーサービス部 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)